



Primate – Neuroscience – Human Language

PNHL Online Seminar

講演

熱帯性タコ類に見る寛容性： ソデフリダコに着目して



ソデフリダコ
(提供：博多屋汐美)

近年、単独性と考えられてきたタコ類の中に、同種他個体への寛容性が高い種がいる可能性が示唆されており、その一種として熱帯性のソデフリダコが注目されます。本発表では、ソデフリダコの社会的寛容性の実態について、室内実験と野外調査の結果分かってきたことを紹介し、それを生み出した要因について議論します。



日時

2026年 **10**月 **15**日(木)
16:00 – 17:00



開催方式

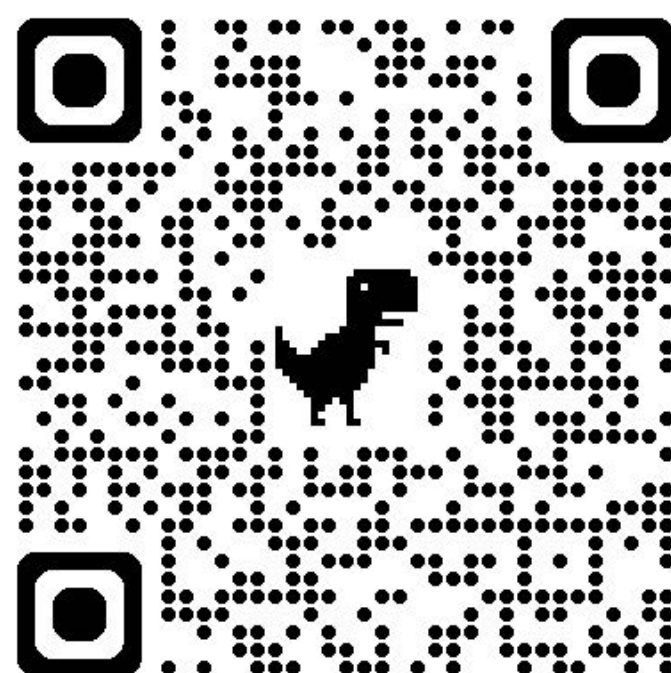
オンライン
(Zoom 配信)



講師

はかたや しおみ
博多屋 汐美 先生
(琉球大学・日本学術振興会特別研究員PD)

参加登録はこちら



主催

学術変革領域研究 (B)

ハイブリッド霊長類言語学

— 異言語融合におけるコミュニケーション変容を紐解く —



本研究領域では、言語学・霊長類学・神経科学をはじめとする様々な分野の研究者が集まり、ヒトやサルにおける他者・異集団・異種間のコミュニケーションを研究し、コミュニケーションの多様化をもたらす要素を明らかにすることを目指します。

情報発信・異分野研究者の相互交流のための活動の一環として、定期勉強会を開催します。



お問い合わせ先：
「融合霊長類言語学」領域事務局
(primaling2026@gmail.com)



本領域での研究活動については、
領域HP (<https://www.primaling2026.com>)
をご覧ください。